



水の都・江戸

～水が私たちにもたらしたもの～

私たちの生活に欠かせない「水」。現代社会では、水道の蛇口をひねれば簡単に水が出て、飲料水はもちろん、炊事や洗濯、風呂水として使用する事が出来ます。

東京における上水道の起源は、今から約 400 年前。江戸に入府する際、徳川家康が水まわりを調べさせ、水道を誕生させます。江戸庶民にもたらされた「水」は、生活用水としてだけではなく、暮らしや文化にも影響を与えています。そこには先人の知恵と工夫がありました。

「水の都・江戸」について考えてみませんか？

展示期間：2015 年 8 月 29 日～2015 年 10 月 29 日

中野区立野方図書館 東京都中野区野方 3-19-5

TEL：03-3389-0214 FAX：03-3389-0238

NAKANO CITY CERTIFIED TOURISM RESOURCES



中野区認定観光資源
2014

1. 江戸の暮らし



①江戸の庶民はどんな暮らしをしていたか？

江戸に暮らす庶民の多くは「長屋」で共同生活をしていました。「長屋」とは、一棟の細長い建物を複数の所帯で住み分ける住居のことです。時代劇などでご覧になった方も多いと思います。長屋と言っても種類があり、表通りに面して商売を営む表店(おもてだな)と、表通りから路地に入った裏店(うらだな)、裏長屋があります。裏長屋の標準的な広さは「九尺二間」(約6畳)でしたが、玄関の土間に水を汲んでおく「かめ」や「かまど」等があり、生活空間としては四畳半程度でした。お風呂はなく、銭湯を使い、洗濯も共同の井戸を使っていました。



『地図で読み解く江戸・東京』
江戸風土研究会／編著 技術評論社 元に作成

②「井戸」はコミュニケーションツールの1つ!?

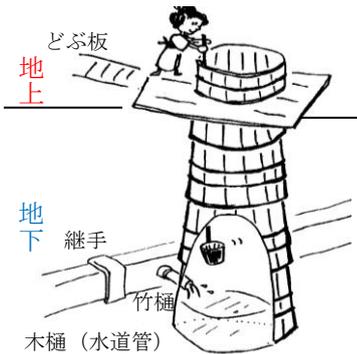
共同の井戸では、朝の洗顔から、食事の下ごしらえ、洗濯などをすべてここで行いました。長屋のおかみさんたちにとっては、隣近所と毎日顔を合わせる社交場で、文字通り「井戸端会議」がにぎやかに開かれていました。日頃使う井戸は、一年に一度(七夕)に、長屋の住人総出で、大掃除をします。大家の指示のもと、水をさらい、井戸の中に入り、隅々まできれいにします。この時に、底に落ちているかんざしなどが見つかることもありました。すべての作業が終わると、井戸にふたをしてお神酒や塩を備えるのが習わしでした。

2. 江戸の水事情

①井戸の水はどこからくるの? ~水道開設の起源~



水道用井戸のしくみ



『江戸の川・復活』渡部一二／著
東海大学出版 元に作成

江戸は多くが埋立地であった為、井戸を掘って水を得ることは難しく、池や川から水を引くことを考えました。天正18年(1590年)、徳川家康が江戸入府に先立ち、家臣・大久保藤五郎に命じ、水道開設の可否を調査させました。こうして誕生した江戸最初の水道(上水)が、小石川上水で、その後、井の頭池、善福寺池、妙正寺池などを結んで拡張され、のちに神田上水となりました。この水を長屋まで引く為には、木樋と呼ばれる木で作った水道管を地下に張り巡らせ、木樋から竹筒(竹樋、呼び樋)を繋げて、井戸へと水を溜めます。地下から大きな桶を積み重ねて、その先端を地上に出し、井戸として使いました。人々は、つるべや竹竿の先に桶をつけたもので井戸の水を汲みました。

②どうする!?人口増で水が足りない! ~玉川上水、江戸六上水の誕生~

神田上水や赤坂の溜池で賄っていた飲料水も、その後、徳川家光の時代になると、参勤交代などで江戸に入る人々や、その生活を支える町人が増え、水が足りなくなりました。そこで、新たな上水が必要となり、豊富な水量を誇る多摩川に着目し、庄右衛門、清右衛門兄弟に玉川上水開削を託します。

多摩川の水を羽村で分水し、武蔵野を延々と横切って、四ツ谷までの約 43 km に水路を作ることになります。しかし、電気設備の無い時代、長い距離に水を流すには、高低差を利用するしかありません。羽村堰から江戸までの高低差は約 100m。1m進むごとに 2.3 mm 低くなる勾配を維持しながらの開削は並大抵のものではありませんでした。玉川上水は、当時の人々の知恵と工夫を集約して誕生しました。江戸の水道は、1590 年・神田上水、1654 年・玉川上水が開通し、続いて 1659 年・亀有(本所)上水、1660 年・青山上水、1664 年・三田上水、1696 年・千川上水が整えられ、こうして江戸六上水が誕生しました。



『地図で読み解く江戸・東京』
江戸風土研究会／編著 技術評論社 元へ作成

3. 水がもたらしたもの



①知恵と工夫がリサイクルの概念を生み出した!!

上水の整備により飲料水・生活用水を手に入れた人々は、その水を維持していく為の工夫をします。天候で給水量が左右されないよう水番屋を設け、管理・維持をする為の普請金や水銀(みずぎん)、水料などを徴収しました。清潔な井戸水を維持していく為に、側に汚水を流せる溝(どぶ)を作り、汚い水(下水)が、きれいな水(上水)と混ざる事の無いようにしました。当時、海外では、糞尿などの汚物をそのまま川に流すこともありましたが、江戸っ子はそれを良しとはせず、直接流すことは避けました。長屋にある共同便所(惣後架・そうこうか)の屎尿は、捨てるどころか高額で買い取られ、田畑の肥料として有効活用されました。人々の中にリサイクルの概念が自然と生み出されたのです。

②マイナスをプラスに変える庶民の生きる力

長屋の屎尿を売った代金は、大家の収入になります。時には3両~5両(約50万円!)にもなり、その代金で、正月には、長屋の住人に餅を振る舞いました。下肥間屋が買い取った屎尿は、農村に運ばれ、落ち葉と混ぜるなどして加工されました。出来上がった肥料は、土地の改良にもとても役立ち、そのお陰で、大根やなす、ネギ、小松菜などが良く育ったと言われていました。現代でも、練馬大根や亀戸大根、寺島なすや千住ネギ、三河島菜…等々の江戸野菜は食すことが出来ます。

江戸っ子自慢の1つに「水道(上水)で産湯をつかった」という文句があります。それだけ江戸庶民は、上水を使うことに誇りとこだわりを持っていたのです。現代では希薄となった人と人とのつながりは、長屋生活や井戸端を通して自然に保たれていました。日常生活の汚水や糞尿などは、有効活用し、リサイクル精神につながっていきました。「水の都・江戸」がもたらしたものの、そこには私たちが大切にしなければならぬものがたくさんあるのかもしれない。

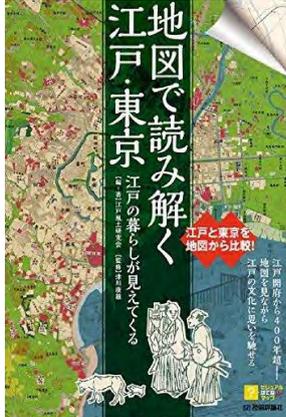
参考文献：『地図で読み解く江戸・東京』江戸風土研究会／編著 『江戸の庶民のかしこい暮らし術』淡野史良／著
『江戸の水道』野中和夫／編 『江戸上水道の歴史』伊藤好一／著 『江戸の川・復活』渡部一二／著 『図説世界を驚かせた頭のいい江戸のエコ生活術』菅野俊輔／著 『東京の川と水路を歩く』メディアユニオン／編 『江戸に学ぶエコ生活術』アズビー・ブラウン／著



水の都・江戸おすすすめ本



江戸の文化に思いを馳せる



『地図で読み解く江戸・東京』

江戸風土研究会／編著 技術評論社 2015年 (213.6 頁)

江戸開府から400年超。東京は江戸からどのようにして今の姿になったのだろうか？ 実測地図をベースにした江戸後期の地図「江戸切絵図」を使用した本書は、現在の東京の地図と比較しながら、江戸の中核・江戸城の秘密や江戸に敷かれた水路とその役割、まちづくりの知恵などを浮き彫りにする。地図を通して、古の江戸と今の東京を知ることが出来る一冊。



水の都・江戸を再発見



『水の都市 江戸・東京』

陣内秀信＋法政大学陣内研究室／編 講談社 2013年 (517.2 頁)

江戸はその誕生時から、水の都としての性格を有してきた。本書では、東京の都心や下町を巡る川や濠、掘割、運河、郊外の上水や水路などを紹介するとともに、水辺周辺地域の歴史や営みまでも描き出す。江戸を受け継ぐ東京もまた、実に多様で魅力的な水の都であることに気づかされる。水の景観を身体で感じながら東京を歩くためのガイドとしてもおすすめ。



江戸に学ぶ「足るを知る」精神



『江戸に学ぶエコ生活術』

アズビー・ブラウン／著 幾島幸子／訳
阪急コミュニケーションズ／2011年 (210.5 頁)

日本に居を構えるアメリカ人研究者が、独自の視点から解き明かした江戸時代のエコ生活とは？ 農民や町人、武士それぞれの暮らしぶりを、自らの手による豊富なイラストと物語で紹介。それらは、農業やエネルギー、交通、建築など生活のさまざまな側面で、現代に生きるわたしたちの糧となるに違いない。





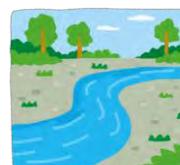
展示図書リスト



書名	著者名	出版社名/発行年	請求記号
江戸の暮らし			
江戸庶民の衣食住	竹内 誠/監修	学研/2003	210.5 エ
図解 江戸の暮らし事典	河合 敦/監修	学研/2012	210.5 ズ
一目でわかる江戸時代	竹内 誠/監修	小学館/2004	210.5 ヒ
町屋と町人の暮らし	平井 聖/監修	学研/2000	210.5 マ
地図で読み解く江戸・東京	江戸風土研究会/ 編著	技術評論社/2015	213.6 チ
お江戸八百八町三百六十五日	山田 順子/著	実業之日本社/2012	213.6 ヤ
実見 江戸の暮らし	石川 英輔/著	講談社/2013	382.1 イ
お江戸日本は世界最高のワンダーランド	増田 悦佐/著	講談社/2013	382.1 マ
江戸の水道事情			
「水」が教えてくれる東京の微地形散歩	内田 宗治/著	実業之日本社/2013	291.36 ウ
水の都市 江戸・東京	陣内 秀信+法政大 大学陣内研究室/編	講談社/2013	517.2 ミ
江戸の川・復活	渡部 一二/著	東海大学出版会/2008	517.2 ワ
江戸上水道の歴史	伊藤 好一/著	吉川弘文館/2010	518.1 イ
江戸の水道	野中 和夫/編	同成社/2012	518.1 エ
江戸の上水道と下水道	江戸遺跡研究会/ 編	吉川弘文館/2011	518.1 エ
江戸の下水道	栗田 彰/著	青蛙房/2012	518.2 ク
絵で見る下水道と下水処理の歴史	申 丘澈・佐藤 和 明/共著	技報堂出版/2010	518.2 シ
外濠 江戸東京の水回廊	法政大学エコ地域デ ザイン研究所/編	鹿島出版会/2012	518.8 ソ
水がもたらしたもの			
江戸の庶民のかしこい暮らし術	淡野 史良/著	河出書房新社/2012	210.5 タ
江戸に学ぶエコ生活術	アズビー・ブラウン /著	阪急コミュニケーションズ /2011	210.5 ブ
図説 世界を驚かせた頭のいい江戸のエコ生活	菅野 俊輔/著	青春出版社/2010	213.6 カ
減びゆく水の都江戸・東京	岩井 是道/著	之潮/2013	517.2 イ
江戸から東京へ 大都市TOKYOはいかにしてつ くられたか?	津川 康雄/監修	実業之日本社/2011	518.8 ツ
江戸東京 味の散歩道	嵐山 光三郎/ほか著	山川出版社/2011	596.0 エ
江戸東京野菜	佐藤 勝彦/著	マガジンランド/2014	626 サ
「江戸前」の魚はなぜ美味しいのか	藤井 克彦/著	祥伝社/2010	662.1 フ

水の都・江戸について調べるには

野方図書館、および他の中野区立図書館に所蔵のある資料をもとに基本的な調べ方をご紹介します。



1. キーワードを集める

✦様々なキーワードを使うことで、資料を効率的に検索できます。

水の都、江戸、徳川家康、徳川家光、参勤交代、長屋、江戸庶民、井戸、上水、下水、汚水、江戸六上水、神田上水、玉川上水、玉川兄弟、木樋、堰、分水、水料、水売り、水舟、水運、水路、多摩川、埋立て、河岸、下肥、江戸野菜、他

2. 基本的な用語を調べる

✦江戸の暮らしや水に関する用語の意味を把握しましょう。

資料情報	請求記号	所蔵館
図説 江戸・東京の川と水辺の事典 柏書房 2003年	N50D	野方
彩色 江戸の暮らし事典 エディキューブ／編著 双葉社 2013年	210.5 サ	野方
図解 江戸用語早わかり辞典 河合 敦／監修 ナツメ社 2013年	210.5 ズ	野方

3. 図書を探す

✦テーマの棚に行って探します。

分類	分野	分類	分野	分類	分野
210.5	江戸時代	382.1	風俗史	518.1	上水道
213.6	東京都	517	河川工学	518.2	下水道

✦江戸の循環型環境に関する情報も調べてみましょう。

資料情報	請求記号	所蔵館
環境循環型社会白書 平成20年度 環境省 総合環境政策局環境計画課／編 2008年	519.0 カ	中央（禁） 本町・鷺宮

✦中野区立図書館利用者開放端末「OPAC（オーパック）」で。

資料のタイトルや著者名、出版社名などから、中野区立図書館所蔵の資料を検索できます。
中野区立図書館のHPからも検索できます。

<http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

✦国立国会図書館の蔵書目録「国立国会図書館サーチ」で。

国内で刊行され、国会図書館で所蔵された図書・雑誌、その他が検索できます。

<http://iss.ndl.go.jp/>

✦東京都立図書館の「蔵書検索」ほかで。

東京都立図書館所蔵の資料のほか、都立公立図書館の蔵書や専門図書館の検索もできます。

<http://www.library.metro.tokyo.jp/>



4. 新聞・雑誌で調べる

野方図書館では〔朝日、読売、毎日、東京、日経、産経、スポーツニッポン、ジャパントイムズ〕計 8 紙の原紙を 3 か月間保存。それ以前に関しては朝日新聞のみ過去 20 年間の縮刷版を所蔵。雑誌コーナーにある雑誌は、週刊誌は過去 3 ヶ月間、隔週刊誌は過去 6 か月間、月刊誌は過去 1 年間、隔月刊誌は過去 2 年間保存しています。

なお、中央図書館では、参考資料コーナーの利用者開放インターネット端末から、以下のデータベースサイトをご利用いただけます。

データベース	収録期間と主な内容
官報情報検索サービス	1947 年 5 月 3 日から当日までの官報記事の検索
日経テレコン 21	1975 年からの日経 4 紙（経済・産業・金融・流通）の記事
聞蔵Ⅱビジュアル	1926 年から 1945 年までの朝日新聞紙面イメージ 1945 年から当日の新聞までの記事 ほか
MAGAZINE PLUS	1981 年からの一般誌・総合誌の雑誌記事検索や学術論文
WHO PLUS	歴史上の人物から現代の人物まで約 32 万人のプロフィール
D1-Law.com	判例情報、法律の改廃記録、法律判例文献情報 など

5. インターネットを利用する

東京都水道歴史館 江戸時代から現代までの水道の歴史が学べる。

<http://www.suidorekishi.jp/>

江戸東京博物館 江戸時代の生活などが学べ、併設の図書室には江戸・東京の資料が充実。

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>

深川江戸博物館 江戸時代末期の深川の街並みを再現展示している。

<http://www.kcf.or.jp/fukagawa/>

玉川上水（東京都水道局） 玉川上水についての歴史についてまとめている。

<https://www.waterworks.metro.tokyo.jp/kouhou/pr/tamagawa/>

落語で発見！お江戸の科学 江戸庶民の生活を扱った落語を通じて江戸時代を学べる。

<http://www.gakken.co.jp/kagakusouken/spread/oedo.html>

6. 関連の政府機関・自治体

環境省 <http://www.env.go.jp/index.html>

〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 5 号館 TEL：03-3581-3351（代表）

東京都水道局 <https://www.waterworks.metro.tokyo.jp>

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 都庁第二本庁舎 TEL：03-5321-1111（都庁代表）

東京都下水道局 <http://www.gesui.metro.tokyo.jp/>

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 都庁第二本庁舎 TEL：03-5321-1111（都庁代表）

中野区 <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/>

〒164-8501 東京都中野区中野 4-8-1 TEL：03-3389-1111（代表）



まちかど通信のがたV o 1. 2 6



終戦70周年記念 ひとり読み語りしばい

『父と暮せば』

作・井上ひさし 出演・天のたつし（松風の会）

戦後の広島を舞台に繰り広げられる物語…

ひとり芝居と読み語りがミックス。舞台には椅子と灯明だけ。

本を片手に一人の語り手が演じます。

日時：9月5日（土）14時～（開場 13時45分）

場所：野方図書館 3階会議室

定員：30名（予約申込制／先着順） 対象：中学生以上

予約：8月22日（土）午前9時から開始

電話（3389-0214）または野方図書館カウンターにて受付

参加
無料

今年も参加します！

『野方まつり』

10月17日（土）・18日（日）

10:00～17:00（18日16時まで）

野方区民活動センター 2階

野方まつりの会場に、図書館が出張！

おすすめの本や季節に合わせた本など
ご用意してお待ちしております。

もちろんその場で貸出もできます。

ぜひお立ち寄りください！

